

令和3年度 さいたま市立尾間木小学校 学校関係者評価書

さいたま市立尾間木小学校  
学校関係者評価委員長

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 4人  
(2) 実施回数 3回

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- (1) 全職員一丸となって取り組む学校課題研究の充実と授業力の向上  
・児童は、学習面でしっかり取り組んでいるとの肯定的回答が多いが、保護者の肯定的回答はそれほど高くない。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため学校での様子が伝わりにくいということがあるのではないかと。同様に、家庭での様子も学校で把握しにくいと思う。数値だけでなく具体的に把握していくことが大切である。
- (2) 明るく活気があり、安全で安心できる学校環境の充実  
・防犯ボランティアに積極的に取り組む方が多い地域である。さらにという意味で児童の安全確保のため、地域との協働のもと自分の安全マップ作製なども考えられるのではないかと。
- (3) きれいな学校をめざし、みんなで取り組む清掃活動  
・この項目も、児童の評価が高く、保護者はそれほど高くない。日々の清掃活動に加え、緑化ボランティアの活動等、地域・保護者との連携を図り、推進してほしい。
- (4) 全校児童が心をひとつにする、教育活動の充実  
・コロナ禍においても学校は感染拡大予防に努めながら、教育活動の充実に努めている。この教育活動の一層の充実を図るとともに、保護者へ周知を図ってほしい。
- (5) 地域・保護者・近隣学校等との信頼関係を基盤とする学校づくり  
・ボランティアの「ありがとう集会」に参加でき、楽しかった。地域の方に、さらに協力してもらえよう、「やりたくなる」取組を行ってほしい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 1 本校の研究主題「主体的で対話的な深い学びのもと、生き生きと学び合うこの育成」に向け、全教職員が指導力の向上を図り、「わかる・楽しい授業」を推進するとともに、感染症拡大防止のため授業参観が十分に行えない状況においても、学校の取組の理解を図るようHPや学校だより等で周知していく。
- 2 防犯ボランティアの皆様のご協力を得て、児童の登下校時等の安全確保に一層努めるため、ボランティアに感謝を伝える「ありがとう集会」等に加え、来年度から実施のコミュニティ・スクールを通して、保護者・地域の願いを学校の経営方針に反映し、地域の中の学校となるよう一層の連携を図っていく。

さいたま市立尾間木小学校長

引間 和彦

